

バリア

岡本 悠

自分、あなたのことが好きです！

でも、まだ、お互いのことが、よく、わからないから...

空は、勇気をふりしぼって、告白した

答えは、NO！

今、思えば、最初から、望みはなかった

なんで、好きになったんだろう...

綺麗だったけど...

文子は、仕事を辞めた

それは、まったく関係なかったが、立て続けに自分も辞めた

白鳥さんという女性が、顔を見せなくなり、空の心はからっぽだった

そこに、現れた、文子

その存在に、心を許した

行き、帰り、同じバスを使っていた

ある帰り道、意気投合した

俺は、長渕剛が好きだと言い

文子は、イエモンが好きだと言った

ロッカールーム

年齢を聞かれた

40歳

見えない、もっと若く見える

文子は、2つ上だと言った

仕事の帰りのバスで、

降りる時に、一礼をした

それを、毎回、繰り返した

行きのバスでも、

目が合うと、アイコンタクトで一礼した

それが 文子には、負担だったかもしれない

面倒臭かったかもしれない

文子は、もう、ずっと先に、この仕事場にいたから

自由を、壊されたのかもしれない

ある 休み時間、俺と、文子は、話合った

文子は、「誰と、ライブに、行ったの？」

「まあ、そういう人と」

「彼女だったの？」

「どうか、わからなかった、向こうがそう思っていたかどうか」

そして、ある日、ロッカールームで、言った

「女はね、好きだって言ってほしいの！ 待ってるの！」

ちょっと、強い口調だった

だから、告白したんだけどな...

女心がわからなかった

その後、食事に誘ってみた

文子は、断った

みんなで行くならいいですよ

2人は嫌らしい

そんなことも、あとになれば、女性心理学の本に書いてあった

文子は、特に、金曜日の女子会には出ていた

ライバルも現れた

何か、視線を感じると

俺を、文子から、離れさせたいような気がした

勘違いかもしれないが...

文子は、いったい誰が好きなのか、わからなかった

1人が、好きなのもかもしれない

男は、求めているのもかもしれない

俺は、夏場は、とにかく歩いた

行きのバス停まで、30分くらい歩き

帰りも、おなじくらい歩いた

それを、聞いた文子は、

バスを使ったらどうですか？

と、言っていた

なかなか、決定機が出ないまま、日は流れた

どんなに誘っても、答えは×

ただ、行きの駅～仕事場へのわずかな道が、デートスポットだった

時に、2階にいる犬を見た

天気の話は、まあ、お決まりだが

よく アイポッドを聴いていたので

「何、聴いてたんですか？」

と、言う

サカナクション

とか

ヒゲダン

などと、答えた

ビートルズ、ボンジョビ...

帰りは、一緒に帰らなくなった

俺が、早いバスに乗るから

文子は、のんびりと、遅いバスで帰ったと思う

そっちのほうがいいのだろう

俺も、だんだん、そっちのほうで完成されてきた

文子は、仕事開始までの時間

よく、本を読んでいた

ある休み時間には、

野球について、教えてほしいと聞かれた

大谷翔平とか？ ノーヒットノーランとは？

そんな、哲学だった

俺は、自分なりに、とてもシンプルな形で

回答した

笑いながら

楽しみながら

松坂大輔の、東京ドームデビュー戦を観に行くと話したら、驚いていた

「あの松坂ですか？ 凄いですね」

と、

俺も、あの時代は、もっと、行動派だったから...

親友と行ったんだ

あれは、まだ、日本ハムが、本拠地を北海道にする前の時代だったから

やがて、冬が近づいてきた

俺は、大きな賭けをしかけた

今度のクリスマスに、食事に誘おう

それで駄目なら、もういいや

そんな覚悟だった

12月の話を、11月から持ち込んだ

早い、早すぎる

でも、彼女の場合、そのくらいの時間が必要だと、判断した

だいいち、文子は欠席する日も増えてきた

遅刻する日も増えてきた

俺のせいかもしれない

俺は、休み時間

窓ガラス越しに、外を見ていた

それも、毎日

バス停で、一緒になった日

クリスマスに、食事行きませんか？

と、誘ったが

やはり、断られた



もう、望みはなかったが、

最後に、もう一度だけ

仕事場の休み時間に

「やっぱり、駄目ですか？」

と、聴くと

…

俺は、親指を立て、グーサインポーズを送った

文子は少しとまどったようだが、把握すると、同じポーズで笑った

終わった

ただ この腐れ縁は続くのだろう、と思っていた

窓ガラス越しに外を見ていたある日、

文子が

「太陽にほえろ、の刑事みたいですね」

と、からかった

また、数日が経った

文子は、俺に、

「わたし、今度、この仕事場やめるんです」

と言った

これには、正直、驚いた

俺の身は、軽くなった

文子も軽くなっただろうか...俺のせいなら...

以前、仕事場の席で、こんな会話を交わした

誕生日はいつですか？

6月19日です

...

それって、太宰治の没日ですよ

「完」